

目次

1 关系的契約論と法秩序観	棚瀬孝雄
I 問題の所在	1
1. 关系的契約論の受容	2
2. 法解釈の地平	6
II 依存的信頼と曖昧な合意	16
1. 信義則上の保護義務	16
2. 説明義務と対等性	22
3. 信認義務と市場的取引	28
III 非完備契約と互酬性	42
1. 契約改定の義務づけ	42
2. 关系的取引と機会主義	47
3. 合意観念の変容	53
IV 法の懷疑	69
2 医師患者関係と契約——契約と Contract の相違	樋口範雄
I はじめに	77
II 医師患者関係——契約と見るか否か	79
1. わが国の医師患者関係=契約説	79
2. 第一のケース——ガン告知	79
3. 第二のケース——輸血拒否	82
III アメリカの医師患者関係=非契約説	89
1. 医師患者関係——例外としての契約的处理	89
2. アメリカの医師患者関係——契約的側面と非契約的側面	94
3. アメリカにおける医師患者関係のとらえ方	97
IV 結び	107

3 閉鎖性と埋留性——契約法における推論と市場の社会的構成	
	ヒュー・コリンズ (佐藤憲一訳)
I はじめに	111
II 基本的要件	113
III 法の形式的合理性	117
IV 計算可能性と期待	120
V 閉鎖性と期待	124
VI コモン・ロー的推論の開放性	127
VII 柔軟性の期待	135
VIII 学問的論争	142
IX 形式主義のウイルス	144
X むすびにかえて	147

4 民法における「合意の瑕疵」論の展開とその検討	
	山本敬三
I はじめに	149
II 「合意の瑕疵」をめぐる議論状況	151
1. 問題の所在	151
2. 錯誤型に関する拡張理論	154
3. 強迫型に関する拡張理論	156
III 「合意の瑕疵」に関する法形成——不法行為法から法律行為法へ	159
1. 不法行為法における裁判例の動向	160
2. 法律行為法における法形成の可能性	165
3. 法形成と立法——消費者契約法	174
IV 終わりに	181

5 現代的契約についての若干の解釈論的課題	
	河上正二
I はじめに	185
1. 本稿の課題	185

II 契約的現象の多様化	186
1. 「契約の前後左右」への問題領域の拡大	186
2. 契約関係への「当事者」としての関わり方	189
3. 給付内容の多様化	191
4. 取引形態の多様化	193
5. 現代契約法に求められているもの	194
III 契約の成否および効力	197
1. 古典的「契約」像	197
2. 契約法の直面する現実	198
3. 契約の効力否定の三局面の相互関係	198
IV 消費者契約について	200
1. 「消費者」	200
2. 「情報提供義務」	201
3. 内容的規制の正当化	202
V 小 括	205

6 契約実践と合意のゆらぎ	
	——フランチャイズ契約紛争をめぐって
	和田仁孝
I 契約関係の構造とゆらぎ	207
1. 問題の所在——契約関係安定化の要素の解明	207
2. 契約合意の文脈負荷性——関係的了解の介在	208
3. 契約合意をめぐる「二重の脱文脈化」とその不能性	211
4. 契約合意の時間的・空間的ゆらぎ	215
II フランチャイズ契約紛争事例の検討	218
1. フランチャイズ契約の構造的特質	218
2. ケースの概要	221
3. ケースの検討	226
III 契約合意の交渉過程への解放——まとめに代えて	230

7 契約過程の方法的組織化

樫村志郎＝菅野昌史

I 契約観念の「ノーマルな」欠如	233
II 入学手続の実践的構造	236
1. 制度化された順序構造	236
2. スタッフによる構造の制御	237
III 学校組織の規範性	244
1. 入学手続構造の自己解明性	244
2. 入学手続による規範生成	245
IV 結 論	247

8 進化する契約——ベンチャー金融契約を事例として

マーク・C・サッチマン（望月清世訳）

I はじめに	251
II 理論的枠組み	253
1. 組織的コミュニティ	253
2. 法実務家	256
III 経験的検証	258
1. ベンチャーキャピタル金融契約（VCFC）	259
2. 質的データの検証——インタビューを素材として	260
3. 量的データの検証——VCFC データを素材として	263
4. 契約の諸類型	267
5. 契約構造の決定要因	280
IV 結 び	291
索 引	311